

「そのときどうする 自分は近所は地域は」

大磯町 総合防災訓練

8月27日(日) 午前8時30分から

災害が発生した際、自分の身を自分の努力によって守る「自助」や、地域や近隣の人が集まり、互いに協力しながら防災活動を行う「共助」の取組みが重要になります。

昨年度に引き続き「発災から避難所開設までの間」に地域で取り組むべき内容として、『安否確認訓練』を町内各地区において実施します。

各地区での安否確認訓練終了後、大磯中学校の体育館等を会場とした避難所体験や、防災啓発体験ブースを実施します。

避難所体験では、町での避難生活に実際に使用される物品の展示・体験や、ブースエリアでは、各種団体による体験、また、建築士事務所協会・町都市計画課による住宅耐震無料相談会も同時開催します。

詳細は、こちらの広報と同時に配布されているチラシをご覧ください。

問 危機管理課

☎内線241・244

訓練の流れ(予定)

大磯中学校会場の訓練内容

◎避難所体験

大磯町が災害に見舞われ、避難所が開設されたらどんな暮らしになるのか、実際に備蓄されている物品等の展示を行い、体験ができます。

◎防災啓発体験ブース

=参加予定団体=

- ・ボーイスカウト大磯第1団
- ・NTT東日本・LPガス協会
- ・東京電力パワーグリッド
- ・平塚水道営業所・陸上自衛隊
- ・建築士事務所協会(町都市計画課)

- 8:30 **地震発生!**(防災行政無線放送)
①シェイクアウト(身を守る安全確保行動)
- 8:33 **震度速報放送**(防災行政無線放送)
安否確認訓練開始
②各家で、地区で決められた安否の掲示を行う(安否旗、タオル等)。
③隣近所で掲示が出ていない家に、声かけをしましょう(皆さんで組長さんが行う安否調査を手伝う)。
☆掲示が出ていない家に対しては、組長さんを中心に声かけをして理由を確認!
④組長さんが受持ち区域の安否をまとめ、区長さんに報告。
- 10:00 **大磯中学校会場訓練開始**
避難所体験、防災啓発体験ブースなど
- 12:00 **全訓練終了**
※荒天などにより中止する場合は、当日午前8時に防災行政無線で放送します。



津波避難タワーが完成しました

●避難について

・津波注意報等発表時の避難は、原則、防潮堤より北側となります。

・津波避難タワーへの避難者は、北浜海岸の遊泳者等のうち、逃げ遅れた方を対象としています。

●ステージについて

町の地域活性化に資する目的で使用することができます。利用については、産業観光課にご相談ください。

問 危機管理課

☎内線241

産業観光課(大磯港湾管理事務所) ☎(61)5719

かながわシェイクアウト

～参加しよう! いっせい防災行動訓練～

9月1日(金) 午前11時

神奈川県では、「自助」の意識の向上を図るため、地震発生時の安全確保行動を県内全域で行う「かながわシェイクアウト(いっせい防災行動訓練)」を実施します。

シェイクアウト訓練とは、事前登録した者が一斉にそれぞれの場所で「①まずひくく、②あたまをまもり、③うごかない」等の安全確保行動を行う、防災訓練です。皆さんも一緒に、身を守る安全確保行動をお願いします。登録方法等詳しくは神奈川県のホームページをご覧ください。 問 危機管理課 内線241・244

